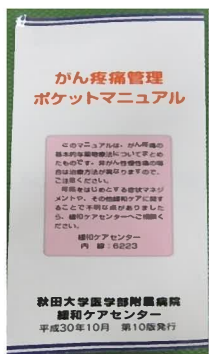


# 緩和ケアだより

## がん疼痛管理ポケットマニュアル改訂(第10版)説明会

10月30日(火)に医療安全管理部と共催で説明会を開催しました。以前は「疼痛管理ポケットマニュアル」と表題しておりましたが、がんに特化したマニュアルであることから「**がん疼痛管理ポケットマニュアル**」と改めました。今回は医師、薬剤師、看護師より説明があり約200名の方々に参加いただきました。

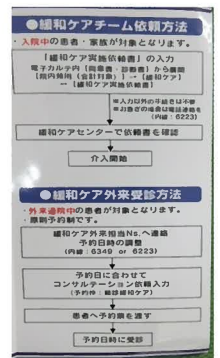


緩和ケアセンター長 安藤医師より  
新規採用の「ナルサス」「スインプロイク」について

医療安全管理部  
薬剤師GRM 加藤先生より  
2017年度医療麻薬に関するインシデントについて



緩和ケアセンター  
がん性疼痛看護認定看護師 阿部愛香さんより  
ポケットマニュアルの活用について



最後のページには、緩和ケアチーム・緩和ケア外来の依頼方法について新しく掲載いたしました。迷ったときにはちょっと開いてみてください。

※部数が不足した場合には、医事課医療サービス室まで(内線:6039)ご連絡ください。

受講方法が変更になってから初めての緩和ケア研修会集合研修を11月18日(日)に開催しました。



### 秋田大学医学部附属病院主催 緩和ケア研修会2018集合研修終了



今年度から、研修会の受講対象が、がん等の診療に携わる全ての医師、歯科医師、またこれらの医師・歯科医師と協働し緩和ケアに従事するその他の医療従事者となり、受講者は「e-Learning」と「集合研修」双方の修了をもって、緩和ケア研修会終了となります。今回は、医師(17名) 歯科医師(2名) 看護師(2名) の21名が受講しました。

# がん性疼痛トピックス

## 医療用麻薬「ヒドロモルフォン塩酸塩」が院内採用となりました！

### 「ヒドロモルフォン」って？

ヒドロモルフォンは、モルヒネを改良した、海外では標準的なオピオイドです。  
徐放性製剤のナルサス®錠（2、6、12、24mg）、速放性製剤のナルラピド®錠（1、2、4mg）、ナルベイン®注（2、20mg）がありますが、現時点では**ナルサス®錠2mg**のみ院内採用となっています。

- 強オピオイドで、WHO三段階除痛ラダーの第三段階の薬剤
- 鎮痛効果・副作用はモルヒネ、オキシコドンと大差ない（同様の副作用対策が必要）

### 他の強オピオイド、モルヒネ・オキシコドン・フェンタニルと比べたメリットは？

- ① ナルサス®錠の内服は**1日1回、内服の負担が少ない！**  
（効果持続時間が24時間のため）

生活に合わせた時間に内服できる！

- ② **腎障害による影響が少ない！**  
→代謝物の活性が非常に低いため、腎障害下でモルヒネより安全に使用できる。  
オキシコドンと同様の注意は必要。

呼吸困難にモルヒネを使用したいけど腎機能が悪い… 時にも使える！

- ③ 相互作用が少ないため、**他の様々な薬と併用しやすい！**  
（グルクロン酸抱合で代謝されるため。薬物代謝酵素の影響を受けると、作用が増強・減弱したり、副作用が増強したりしてしまう。）

- ④ 規格が多いため、**少量から開始でき高用量でも内服の負担が少ない！**  
ナルサス®錠2mg≒オキシコドン徐放錠6.6mg  
ナルサス®錠24mg≒オキシコドン徐放錠80mg

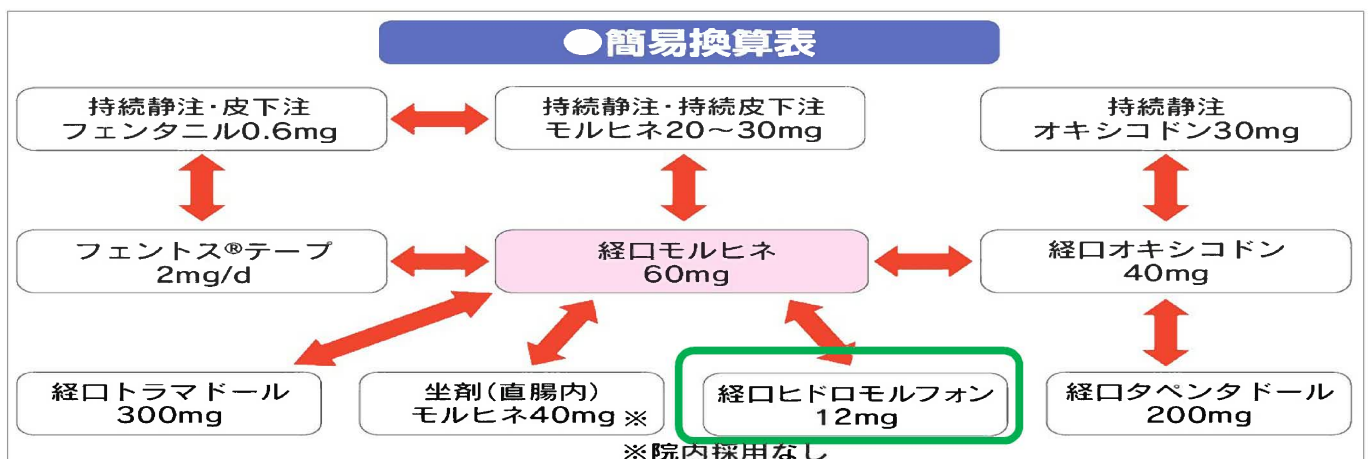
高容量でも1日1回、1錠の内服が可能！

### 他院では、オピオイドのファーストチョイスとなっているようです。

※現段階では、レスキューはオキノーム®散、オプソ®内用液等となります。  
速放性製剤のナルラピド®錠の院外処方が可能です。

換算比は、

**経口ヒドロモルフォン：経口モルヒネ：経口オキシコドン = 12：60：40**



※「がん疼痛管理ポケットマニュアル」をご参照ください。

引用・参考文献

- ・ 余宮きのみ（2018）：広がるオピオイドの選択肢ーヒドロモルフォンをどう位置付けるか？ー p.2、14、15（緩和ケア治療Up to Date資料）
- ・ 秋田大学医学部附属病院 緩和ケアセンター：がん疼痛管理ポケットマニュアル第10版